

令和5年度 第4回運営推進会議議事録 看護小規模多機能ホームやすらぎ		記載日	令和 5年 10月 10日
		記載者	長田 美紀
議題	1. 利用状況 2. 交流・行事の実施状況 3. 事故・苦情の状況 4. 地域の現状等情報交換 5. 運営推進委員からの助言・評価		
日時	令和 5年 10月 10日（火）開催		
出席者 敬称略	上中3区 町内会会長 広島市民生委員 グループホームなごみの郷亀山 看護小規模多機能ホームやすらぎ	石丸 敏和 藤原 照夫 廣森 靖司 長田 美紀、大道 麻衣子	
欠席者 敬称略	三入・可部地域包括支援センター ご利用者ご家族代表	佐々木真知子 植田 美鈴	
議事	1. 利用状況 【看護小規模多機能ホームやすらぎ登録者】 26名/29名（登録定員） 要介護1： 0人 要介護2： 0人 要介護3： 3人 要介護4： 7人 要介護5： 14人 区分変更申請中 2人 *平均介護度： 4.2（前回4.4） *平均年齢： 83.5歳（62～101歳） （令和 5年 9/30現在） ・新規利用… 8月 3名 ターミナルケア、看取り、緩和ケア 9月 3名 ターミナルケア、看取り、緩和ケア ・利用終了… 8月 4名 ご逝去 9月 2名 ご逝去 【通いサービス】 利用者実数：26名/26名 一日平均利用者数（8/1～9/30）：12.4名/日 延べ利用者数（8/1～9/30）： 760名 【訪問サービス】 看護：19名/26名 延べ訪問件数（8/1～9/30） 889件 介護：15名/26名 延べ訪問件数（8/1～9/30） 1999件		

【泊まりサービス】

利用実人数：11名/26名

平均宿泊者人数（8/1～9/30の平均）：6.0名/日

延べ宿泊者数 358名（8/1～9/30）

長期宿泊者人数 0名

2. 交流・行事等の実施状況

【実施した交流・行事】

- お誕生日のお祝い
→お祝いカードとケーキ、歌のプレゼント
- 趣味活動
→スケッチやパターゴルフなど好きなことを個別で実施
- 10/22 開催予定の初のやすらぎ感謝際で使用する看板や。クラフトをご利用者と実施中。地域の方との交流も楽しみにしている。
- ご利用者からありがたいの気持ちを込めた筆文字アートの寄贈があった。

3. 事故・苦情の状況等（8/1～9/30）

【事故…1件】

（内容）泊りサービス中。ご利用者が起きた際に布団が足の指に引っ掛かり、親指の爪がはがれてしまった。

（対応）発見時、止血されており消毒とガーゼ保護の処置を行った。その後、感染を起こすことなく創部は治癒している。爪白癬があり、肥厚しがサガサした状態であったため、事前のケアが必要であった。ご家族にも説明と謝罪を行い、対応についての了承を得た。

【インシデント：6件】

貼付剤の自己除去、送迎遅れ、誤食、ベッド・ソファからのずり落ち、離施設

【苦情…1件】

（内容）お酒を飲まれるご利用者に対し、「アル中だね。」と職員が言ったとご家族から、職員の名前も含めてお話があった。

（対応）不快な思いをさせたことに対し謝罪し、対象の職員に事実確認をした。「アル中だね。」と言った記憶はないが、ご利用者がそのようにとらえたのは事実であることから、誤解の生じる発言は控え、考えてコミュニケーションをとるように全職員に注意喚起を行った。

【高齢者虐待の通報】

(内容)「叩いてしまった。けがをさせた。血が流れている。」と事業所にご利用者の家族から9/21に電話があった。

(背景)介護者は日頃から熱心に介護をし、ここ最近介護負担感が強く、「手をあげてしまいそうだ」と自身の衝動を懸念していた。泊りのサービスを増やすなどレスパイトを積極的に取り入れ、施設入所も申し込みを決めたところであった。今回、排泄トラブルに関し「当てつけなのか?」と聞いたら、頷かれたことで衝動的に頭を叩いてしまった。

(対応)ただちに職員2人で訪問。介護者のお話を聞く、ご利用者の状態を確認するの二手に分かれて対応。介護者はかなり混乱しており、承諾を得てご利用者は看多機で連泊することとした。主治医へ報告し、地域包括支援センターへ事業所から連絡を入れた。施設入所の日が決定するまで看多機で連泊、自宅に帰るときは地域包括支援センターへ連絡し、相談窓口を増やしておくという対応で、今回の件は一旦終結となった。

4. 地域の現状等情報交換

【地域の現状】

- ・10月は地域や施設でのお祭りが毎週のようにある。地域住民が高齢化しており、町内会の役員の負担が増えている。活性化のために、継続していきたいが、担い手の問題は今後も深刻化していくであろう。
- ・お祭りについては、コロナ禍で3年ブランクがあると。当時参加できていた人が参加できなくなっている。
- ・次年度のやすらぎ感謝祭は、時期を11月にずらして開催することを検討。
- ・グランドゴルフの大会もあったが、綾ヶ谷や大野など人数が足りず参加できていない地区もあった。それだけ高齢の人が増えている。
- ・10/29 両延祭で、やすらぎにもお神輿が寄ってくれる予定。時刻は後日詳細を町内会長から連絡あり。当日、ご利用者も外に出て参加できるようにする。

【感染症状況】

- ・新型コロナウイルス感染症については、8月～9月末でご利用者・職員ともに発生はなかった。
- ・その他の感染症は尿路感染症や誤嚥性肺炎が多い。
- ・当法人のクリニックでは発熱外来でコロナ、インフルエンザの陽性者を認めており、地域でも増加傾向のため感染症予防対策を継続中。
- ・新型コロナウイルス感染症、インフルエンザのワクチン接種は任意で

はあるが、接種が受けられる医療機関等の情報をご利用者に提供する。

【その他】

- ・看護小規模多機能ホームやすらぎをご利用中の方へのアンケート調査を11/1～12/31の2か月間で予定している。内容は、前回のご助言と実際に小規模多機能型居宅介護で行われているものを参考に作成した。書面での回答方法と、書面に載せたQRコードから入力してもらう回答方法を用意した。複合的なサービスであるため、通い・訪問・泊り・食事について満足度とご意見をいただく形にしている。

5. 運営推進委員からの助言・評価、連絡事項

【助言等】

- ①虐待防止委員会は事業所にあるのか。高齢者虐待の報告を受けて、「地域で最期まで」、「自治会で助け合って」というのは厳しいと感じた。たまたま、やすらぎがあって、たまたま利用していただけで、埋もれている事案もあるだろう。今回、施設入所までどのくらい待つのかはわからないが、事業所としてご利用者の安心を担保しつつ、その家族の方へのフォローもできると良いのではないだろうか。
- ②ご利用者の金銭管理についてどのようにしているか。トラブルになりやすいと思うが、どのように対応しているのか。
- ③賃貸住宅（ラッシュールメゾンやすらぎ）に住んでいる方や、ご利用者は外出の制限はあるのか。一般の人は自由にしているが、このような場所ではどうされているのか。
- ④アンケートは、食事について何が食べたいか聞いてみたらどうだろうか。食べるのが楽しみだから。自由記載のところは、例文をつけると答えやすい。例文は、職員が気になっていること、できないことは記載しない方が、意見が引っ張られることはない。まずは、やってみてどうかあまり深く考えすぎずに実施してみよう。グループホームではグループホームが生活の場になるためご家族にアンケートは実施していない。ご利用者も認知症である。しかしながら、これを参考に前向きに実施を検討したい。

【助言に対し】

→①虐待防止委員会の設置は、介護保険の事業所は身体拘束の禁止も含めて厳しく求められているため、リスクマネジメント委員会と一緒に検討会を行っている。法人としても委員会を設置しており、共有や検討会議を開いている。

→②基本的に、金銭の預かりは行っていない。ご家族が県外で頻繁に来られない方や、買い物支援を利用されている方はご自身で管理していただくか、高額であれば出納帳を作成し施錠できる場所で預かってい

る。出し入れの確認は職員2人以上で行っている。

→③外出に関しては、感染症対策での禁止はしていない。ただし、病的に外出することがご本人の負担になる場合は、主治医がストップをかけることはある。

→④アンケートの食事についての項目に、例文や食べたいものを問う内容を入れて修正を行う。

【長期連泊者の承認について】

現在、長期連泊者はいない。

【連絡事項】

次回の運営推進会議

令和5年12月12日（火）10：00-11：00

看護小規模多機能ホームやすらぎ 相談室

以上